

# Digital Motion Picture Camera BURANO/CineAltaB

バージョンアップ情報 / Release Notes / Notes de publication / Freigabemitteilung /  
Note di rilascio / Notas de la versión / 发行通知 / Заметки о выпуске / Catatan Rilis /  
ملاحظات الإصدار

## MPC-2610

## Version 2.0で更新された主な機能

### イメージースキャンモードの追加

以下のイメージースキャンモードを追加しました。

- FFC 3.8K 16:9 (最大フレームレート120fps)
- S35 4.3K 4:3 (最大フレームレート60fps)
- S35 1.9K 16:9 (最大フレームレート240fps)

S&Q Motionでフレームレートを240fpsに設定したときは、SDI出力およびHDMI出力ができません。

### 1.8倍デスクイーズ表示機能追加

1.8xのデスクイーズ倍率を選択できるようになりました。

### S&Q Motion時のフレームレート追加

S&Q Motionでの撮影時に、66、72、75、88、90、96、110fpsを選択できるようになりました。

### 記録フォーマット (X-OCN 16:9 24P) の追加

システム周波数を24に設定した場合に、記録フォーマットでX-OCNかつ16:9が選択できるようになりました。

### 外部出力の改善

- XAVC記録時に、SDI出力にカメラの状態や設定を表示できるようになりました。また、X-OCN記録時と共通の出力フォーマット (Monitor FHD) を追加しました。

- 外部出力映像に対して、カメラの状態や設定の表示レイアウトを改善しました。
- SDI出力フォーマットにおいて、23.98PsFに対応しました。
- X-OCN記録時のSDI出力のメタデータに、TCおよびClip Nameを追加しました。
- Base LookのInputがS-log3に設定されているときの外部出力の画質を改善しました。

### 手振れ補正Active/High対応モードの追加

イメージースキャンモードがFFC 6Kでも、PL StabilizationでHighを、SteadyShotでActiveを設定できるようになりました。

### その他の改善した機能

- 高輝度部 (High Key) が白とびしていないか、低輝度部 (Low Key) の画像の区別ができるかを確認できる機能を追加しました (High/Low Key)。
- White Selectでホワイトバランスのメモリーポジション (D/E/F/G/H) を設定できるようになりました。
- Cine EIモードでBase LookがS-log3に設定されているときのLCDモニターを、709相当で表示するガンマ表示アシスト機能を追加しました。
- X-OCN記録時のメタデータにブリージング補正、手ブレ補正の情報を追加しました。
- Base Lookの設定値として709toneを追加しました。
- ユーザー 3D LUTファイル使用時の画質を向上しました。
- PLレンズインターフェースでのアイリス制御、ズーム制御、フォーカス制御に対応しました。アイリス制御は、リモートコントロー

ルパネルからの操作のみ対応しています。また、PL-Mt Voltageで24Vの通電方式を設定できるようになりました。

- システム周波数で29.97、25、24、23.98選択時のオートフォーカス性能を改善しました。
- システム周波数で24選択時でもProxy記録ができるようになりました。
- 工場出荷時のシステム周波数を23.98に変更しました。
- MaintenanceメニューのReset to Factory Defaultsを実行することで、設定値のリセットだけでなく、パスワードやユーザー 3D LUTなどの内蔵メモリーに保存したファイルデータもリセットできるようになりました。
- リモートコントロールパネルからのNDフィルターのパリアブルモードに対応しました。
- ステータス画面で以下ができるようになりました。
  - Imager Temperatureの表示
  - メモリーカードの初期化
  - Camera ID、Reel Numberの設定
- 「Monitor & Control」アプリからの操作性を改善しました。
- LAN接続された機器からのタリー制御に対応しました。

## Version 1.1で更新された主な機能

### 有線LAN経由によるS700プロトコルに対応

リモートコントロールパネルとカメラをLANケーブルで接続し、カメラの機能の一部をコントロールできるようになりました。

### 1.5倍デスクイーズ表示機能追加

1.5xのデスクイーズ倍率を選択できるようになりました。

### マルチマトリクス of Area Indication 機能に対応

Multi Matrixを設定中に補正対象となっている色軸が分かるように、対象領域を見分ける表示機能 (Area Indication) を追加しました。

### Matrix/Multi Matrixの調整範囲改善

Base LookがUser1 ~ User16のいずれかに設定されているとき、および、Target DisplayがHDR(HLG)に設定されているときのMatrix/Multi Matrixの調整範囲を改善しました。

\* V1.1では、V1.0の設定値に対する補正効果が変わります。V1.0でMatrix/Multi Matrixを使用している場合は再調整してください。

## 「Monitor & Control」アプリケーション Version 2.0.0に対応

「Monitor & Control」アプリケーション Version 2.0.0で追加された機能が使えるようになりました。

お使いいただけるカメラ本体と「Monitor & Control」アプリケーションの組合せは以下のとおりです。

○：使用可能、×：使用不可

|                | Monitor & Control |                 |
|----------------|-------------------|-----------------|
|                | V1.1.0            | V2.0.0          |
| MPC-2610 V1.00 | ○ <sup>1)</sup>   | ○ <sup>1)</sup> |
| MPC-2610 V1.10 | × <sup>2)</sup>   | ○               |

1) Monitor & Control V2.0.0の追加機能は使えません。

2) モニタリング機能が使えなくなります。